

新湊川公園の植物管理 (2023.5.26)

文責：藤原春善 (樹木医)

1. 日時：2023.5.26 9時～12時

晴曇り

2. 場所：長田区新湊川公園左岸下流部

3. 参加者：長田区役所 2名、(公財) 兵庫県園芸協会 2名、ソーグッド長田 2名
就労支援施設 (アンコラージュ 5名)、樹木医 (久保田・藤原・和田)

4. 内容：公園の植物の現状把握と樹木の剪定・枯れ枝処理及び侵略的外来種除草

①確認された植物と管理

・高木 (病虫害枝・枯死枝・重なり枝・徒長枝等は剪定する)

：アラカシ (どんぐり)、エノキ (キーストン種)、ケヤキ (景観木)、
シラカシ (どんぐり)、ヤマモモ (実食用)、センダン (景観木、薬用植物)、
ソメイヨシノ (景観木・ヒコバエ及び胴吹き剪定)、ナンキンハゼ (蠟の原料)
クスノキ (県の木、樟腦の原料)
シンジュ (外来種) は繁殖力が旺盛で生物多様性を阻害するため伐採除去

・小高木 (病虫害枝・枯死枝・重なり枝・徒長枝等は剪定する)

：ヤマグワ (実食用)、ヒイラギ (花は香が良い、節分などで使用)、
アカメガシワ (新芽が赤い陽樹、葉を皿がわりに使用)
トウネズミモチ (外来種・県ブラックリスト) は伐採除去

・低木 (病虫害枝・枯死枝・徒長枝等は刈り込む、過密枝は多少切透かす)

：サザンカ (八重赤花、園芸種、景観木)、マサキ (赤実、景観木)、
トベラ (白花、景観木)、ユキヤナギ (園芸種、景観木)、
シャリンバイ (白花、園芸種、景観木)、
アベリア (白花、外来種、景観木)

・蔓植物 (繁茂した場合は適切に蔓切をする)

：フジ (淡紫色花、景観木)、
ノブドウ (緑・赤紫実)
ヘクソカズラ (ヤイトバナ、臭気がある。黄褐色の実には野鳥の食餌植物)
アオツヅラフジ (カミエビ、黒紫色実)

・在来草本 (繁茂した場合は適切に除草する)

：アオカモジグサ、カモジグサ、ギシギシ、ギョウギシバ、キュウリグサ、
クサイ、シバ、スイバ、スズメノカタビラ、スズメノチャヒキ、ツメクサ、
シロツメクサ (外来種、空气中窒素を固定し肥料となる、環境材料である)
ノゲシ、ノビル (食用)、ハマスゲ、ヒゴクサ、ヒナギキョウ、フシゲチガヤ

・侵略的外来種 (全草除草する)

：アレチギシギシ、アメリカフウロ、アレチヌスビトハギ、アレチノギク
イヌムギ、ウラジロチチコグサ、オオアレチノギク、オッタチカタバミ
オシロイバナ、オランダミミナグサ、カモガヤ、カロリナアオイゴケ、

コマツヨウグサ、コメツブツメクサ、コニシキソウ、シマスズメノヒエ、
 シナダレスズメガヤ、シロバナマンテマ、セイタカアワダチソウ、
 セイタカハハコグサ、セイヨウタンポポ、タチスズメノヒエ、
 チチコグサモドキ、ツタバウンラン、ツボミオオバコ、トゲヂシャ、
 ナギナタガヤ、ナガミヒナゲシ、ナガバギシギシ、ネバリノミノツヅリ、
 ハナヌカススキ、ハタケニラ、ヒナキキョウソウ、
 ヒゲナガスズメノチャヒキ、ヒメコバンソウ、ヒメジョオン、
 ヒメムカシヨモギ、ブタナ、ヘラオオバコ、マツバウンラン、
 マメカミツレ、マメグンバイナズナ、ムラサキカタバミ、ユゲショウ、

②確認された動物

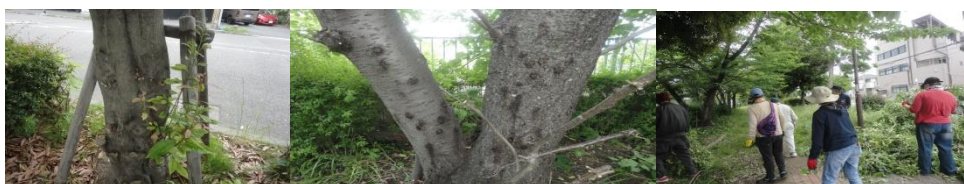
- ・鳥類（ドバト、ムクドリ、ヒヨドリ）
- ・昆虫類（オオマダラカメムシ、ヒゲナガセイタカアワダチソウアブラムシ、
ヒロヘリアオイラガ）



低木は徒長枝が目立つ

イネ科外来植物が繁茂

ヒメジョオンが繁茂



ソメイヨシノのヒコバエ

ソメイヨシノ胴吹き

剪定・除草後見通しが改善